

亀頭包皮炎

3歳前後よりおちんちんの先端が赤く腫れて痛がる、という経験をする場合があります。これは、包皮先端の炎症で亀頭包皮炎といいます。亀頭と包皮の細菌感染です。

主な症状：

- ・ 亀頭部、陰茎の先端や包皮部が赤く腫れる。
- ・ 膿がでる。
- ・ 排尿時や何かが触れたときに痛みを感じる。

治療：

- ・ 抗菌薬の塗り薬を塗ります。
- ・ 抗菌薬を内服することもあります。
- ・ 数日で腫れ、痛みが落ち着きます。

* 恥垢（ちこう）

こどものおちんちんをよく見てみると包皮の下に黄色い脂肪の塊のようなものが見えることがあります。これは皮膚の表面の新陳代謝によりできた垢であり恥垢と呼びます。通常この垢には細菌はついていません。成長と共に包皮がむけてくると自然に排出されるので特別な処置は必要ありません。

赤ちゃんのおちんちんの洗い方

1. おちんちんを持ち上げる

まずは、ママの手でベビーソープの泡をしっかりと泡立てます。おちんちんの裏も汚れているので、持ち上げて洗いましょう。

2. おちんちんの包皮を下に伸ばしてすすぐ

新生児のうちは、おちんちんやたまたまを流水ですすぐだけでよいですが、生後3～4ヶ月くらいになったら、包皮のしわを伸ばして洗いましょう。おちんちんの包皮をやさしく下に引っ張りしわを伸ばします。無理に引っ張らないようにして、ひっかかったところでストップしてください。包皮を伸ばしたところでおちんちんの先端部分（亀頭）をすすぎ、皮を元に戻します。

3. たまたまの裏側、しわの中も洗う

たまたまの裏側やしわの中も、おしっこやうんちの汚れが溜まりやすいところです。ベビーソープの泡で丁寧に洗ってあげましょう。

4. 足の付け根、くびれもしっかり洗う

足の付け根といったくびれ部分には汗が溜まりやすいので、忘れずに洗ってあげます。

5. おちんちんやおしり周りをしっかり乾かす

お風呂上がりは、おちんちんやおしりをしっかり乾かしてからおむつを履かせてあげてください。湿ったままでおむつを被せると、かぶれのもとになります。

むきすぎるとまれに包皮が戻らなくなることがあります。この状態を嵌頓（かんとん）包茎といいます。この状態が続くと血流が滞る危険性があるので、すぐに小児外科か泌尿器科のある病院を受診してください。